

韓国入テント望見

八管巡視船が竹島調査

【舞鶴】第八管区海上保安部巡視船くづりゅう(二七〇シ)ながら

【舞鶴】第八管区海上保安部巡視船くづりゅう(二七〇シ)ながら

八日午前韓国と領土権問題を係争中の竹島に接岸したが、波浪が高く、上陸不可能のため、海上から島内の状況を調査した。同本部では、その結果を二十九日午後三時半次のように発表した。

一、西島西側のどうくつ前にテントを張り、作業中の韓国人六名を発見、同人らの服装は白シャツ、緑色のズボン姿で割合整然とした服装であった。

一、テントは立派なもので、そばに新しい木片が積み重ねられてあった。

一、このテントは同島に派遣された警備員のものとは推定される。

一、西島北側のガケ下の岸壁に白いペンキで「七月二十五日大韓

国調査団の竹島に来訪の近きが確実視される。

一、テント付近の陸岸に七、八名程度乗れる伝馬船一隻が認められるほか、船艇はなかった。

一、東島の南側のガケ上から新しいロープが約十四呎程度かけており、中腹のどうくつによじ登るためのものと思われるが、付近に人影はなかった。

一、前記六名の韓国人には、マイクを通じて韓国語で竹島は日本領土であるから早急に立去るよう通告した。

一、外国新聞情報によると、韓